



油断できない！嘔吐、下痢

胃腸炎を起こす細菌やウイルスはたくさんあります。冬に流行するノロウイルスやロタウイルスは家庭内感染を起こしやすいので、大人も兄弟も注意しましょう。

子どもが吐いたら・・・

まずは、しっかり状況を振り返りましょう。

- ① 直前に頭や、おなかを打っていないか
- ② おなかを痛がっていないか、下痢も同時にみられていないか
- ③ 熱はないか。吐く量が多く脱水症状を起こしていないか

吐き続けるときの対応方法

* 吐物が気管に入らないように上体を起こし、顔を横に向けて寝かせる。吐き気が治まらない時は、背中をさすってあげましょう。

* 食べ物飲み物を与えず安静にする。

* 吐き気が落ち着いてから、口をすすぎ、白湯や番茶などで水分補給をゆくりしましょう。

* 吐いた後ぐったりしている、機嫌が悪く食事ができないなどいつもと様子が違う時は急いで受診しましょう。

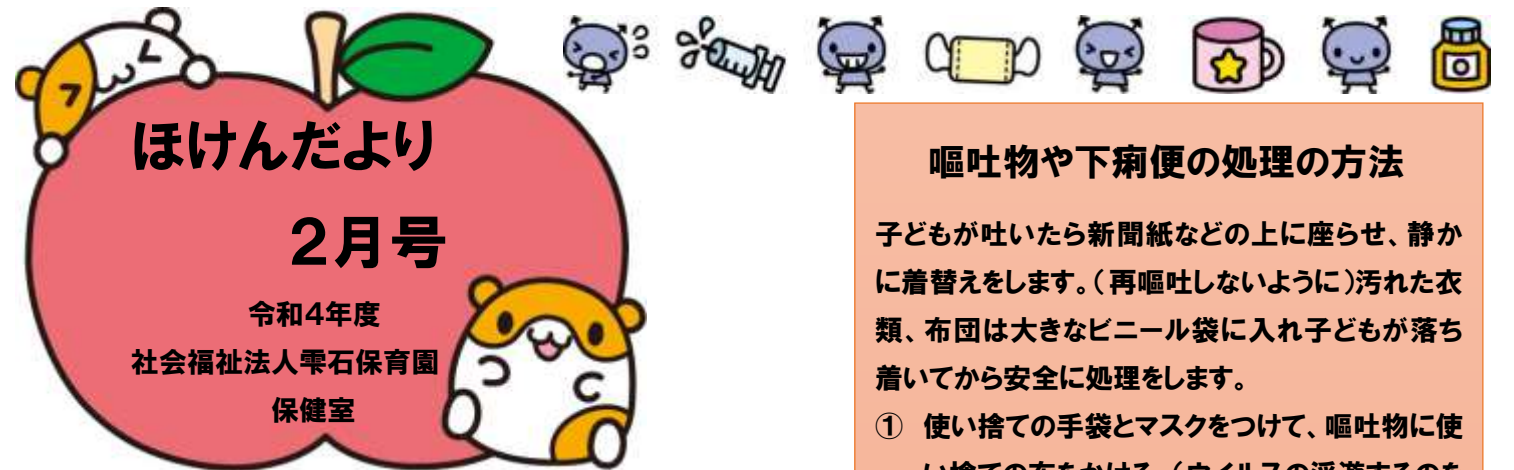
下痢をしたら

* 便の状態を確認しましょう。トイレが自立している場合は、トイレの自動洗浄機能を手動に切り替え便性が確認できるようにしましょう。水様性の便が2回以上出る、便に血液や膿が混じる、便の色が黒、白などいつもと違う時は病院受診をしましょう。

* 嘔吐、発熱が見られたり、機嫌が悪い時も病院受診を。

* 下痢の時は、水分補給に気を付け、脱水症状を防ぎます。白湯や番茶、イオン水などを常温で飲ませるようにしましょう。

* 下痢でトイレに行く回数やおむつ交換の回数が増えたとおしりが荒れやすくなります。暖かいタオルで優しく拭いてあげましょう。荒れがひどいときは皮膚の保護剤(ワセリンなど)塗りましょう。



ほけんだより

2月号

令和4年度

社会福祉法人 雫石保育園
保健室



いつもの冬より雪が少ないようですが、子ども

たちは、寒さを気にせず雪遊びを楽しんでいます。空気の乾燥がすすむこの季節は、インフルエンザなどのウイルス性疾患が流行しやすくなります。手洗い、うがいをしっかりし、感染対策を引き続き行っていきましょう。

発表会の練習も佳境に入ってきました。十分に休息をとり、体調を整え、楽しい発表会を迎えられるようにしたいですね。

嘔吐・下痢の症状後の登園について

ノロウイルスやロタウイルス、アデノウイルス等の検査をしても陰性と診断を受けても胃腸炎は感染拡大しやすい疾患です。「保育園における感染症ガイドライン」に従い嘔吐下痢の症状が見られた際には**症状が治まって24時間経過してからの登園をお願いいたします。**

嘔吐物や下痢便の処理の方法

子どもが吐いたら新聞紙などの上に座らせ、静かに着替えをします。(再嘔吐しないように)汚れた衣類、布団は大きなビニール袋に入れ子どもが落ち着いてから安全に処理をします。

- ① 使い捨ての手袋とマスクをつけて、嘔吐物に使い捨ての布をかける。(ウイルスの浮遊するのを最小限にする)
- ② 塩素系漂白剤(販売時6%濃度)20ccを1リットルの水に準備し、布を何度か交換して拭き取る。さらに嘔吐物があった場所を周囲から拭き取る。
- ③ 汚れたものは、すべてごみ袋に入れ消毒液をかけて密閉してから捨てる。
- ④ 嘔吐物のついた服は、85℃以上の熱湯に1分以上つけてから洗濯する。(熱に弱いノロウイルスは死滅できる)
- ⑤ 漂白剤が使いにくい場所(じゅうたん、フロアマットなど)は、スチームアイロンで蒸気をあてたり、大きな布団は乾燥機にかけるとより安全。
- ⑥ 消毒作業が終わったら十分に手洗いを。

* ノロウイルスはアルコール消毒が効きにくい特徴があります。

* 塩素系漂白剤は色が抜けることがあります。

